



学校だより

# あーよかったな あなたがいて

第2号

平成30年5月17日  
高岡市立戸出西部小学校

## 運動会に向けて 準備ができています！

校長 要藤 明人



運動会に向け、16日(水)には運動会の予行を行いました。5、6年生の係の子供たちは、自分の役割を確認することができました。また、他の学年の種目を初めて見ることで、運動会気分も高まってきたのではないのでしょうか。

さて、運動会に備え、4月25日(水)から、学年毎に朝トレを行っています。内容は、ラジオ体操、ダッシュ、スキップ、立ち幅跳びです。十分足らずの短い時間ではありますが、どの学年も集中的に活動しています。この運動のお陰で、すっきり気分で1時間目の学習を子供たちがしていると話してくれた先生もいます。

また、全校で踊る戸出音頭の練習では、6年生が1年生に教える場面が何度かありました。体育の時間では、低学年、中学年、高学年が合同で、遊走・団競の練習を行う中で、教え合いや協力し合う

様子も見られます。運動会を意識し、運動に取り組むこと自体、子供たちの成長につながっているのでしょう。

いよいよ練習の成果を発揮する運動会が迫っています。きっと、たくさんの感動が見られることと思います。お家の方の声援、どうぞ、よろしくをお願いします。

## 運動会は、優勝を目指す競技大会です

運動会は、優勝を目指し仲間とがんばることで、運動しようとする意欲が高まったり、仲間と一緒に取り組む楽しさを味わったりすることができます。高学年になると自分の役割や責任を果たすことで自主的に行動する態度を育むことができます。

さて、競技ですので採点についてお知らせします。疾走・遊走については、1位3点、2位2点、3位1点。団競・リレーについては、1位20点、2位15点、3位10点、4位5点です。応援タイムは点数に加算されませんが応援大賞や特別賞が贈られます。今年は何の団が優勝するのでしょうか。わくわくドキドキですね。



## 詩紹介② (本校の子供の作品4つも掲載しています)

入いね毛いね  
れいこがいこ  
てによつふよつ  
ねてわねて  
ふわで



③四月  
ね月  
こ二  
こ十日  
(今城愛  
小城愛  
小3)



いくいスゴゴ  
イルイトミミ  
音ン音ンを箱  
しとしと入に  
たたれたら

②四月  
ゴ月  
ミ十九  
箱九日  
(舟塚大輝  
小3)

悲今怖  
しいい  
いなんみ  
よいだた  
のいパ  
がにカ



①四月  
信月  
長十八  
様八日  
(中田昇馬  
小3)

元と一でワ読聞他大私本私  
の言おもクンこの切の  
世わー母ワでえ人な心  
界れいかクいなのも  
にてーらするとく  
ら



⑥五月  
心月  
の十一  
友一日  
(飯泉袖月  
小5)



怒るお母さん  
あーおちやん  
どーしあちゃん  
おばあちゃん  
ねえ

⑤四月  
ど二  
う十五  
日  
(渡辺あずさ  
6歳)

正車  
面の  
がを  
ある見た  
ら



④四月  
車二  
月十一  
日  
(堂田実花  
小3)

## 先人の苦労や知恵を引き継ぐ「米作り」がスタート！



5月14日(月)に、2年生、3年生が田植えをしました。今年も築山そばの矢後貴章様の田の提供を受けて、高岡南ライオンズクラブの皆様やJA高岡の皆様のご指導により、無事に苗を植え終えることができました。この米作りは、この後、5年生がらち転がしを使った草取り、4年生が稲刈り、1年生が稲運び、6年生が千歯扱き足踏み脱穀機を使った脱穀を体験します。

これらの手作業や昔ながらの農機具での米作りを通して、先人の苦労や知恵を学び、郷土への愛着を育んでほしいと願っています。そして、何よりぬるぬるする土の感触を体験したり、仲間と取り組む喜びを味わったりすることで豊かな心が育っていくことを期待しています。

矢後様、高岡南ライオンズクラブの皆様、JA高岡の皆様、今年もよろしくお祈りします。

## 「ああうれし」は、大阪弁代表の言葉？

大阪生まれの作家、田辺聖子さんは、「女のホンネ 男のホンネ」の著書で、次のように書いています。

『大阪弁ではやたら「ああ」を連発し、しかも形容詞に必ずくっつけるが、それとともに、「うれし」も連発することに私は気付いたのだ。麦茶を飲んでいて、それがよく冷えていると、「ああうれし、ちめた」といい、(中略)何かにつけて「ああうれし」ということが多い。』

だんなさんに、「うれしを連発しているとうれしの安売りではないかと」と言われると、田辺さんは次のように応えます。

『常時、一日に何度も、「ああうれし」を連発しているほうが、「人生の景気づけになって、いいんじゃありません？うれしうれしで世を渡る方が』』

大阪に芸人が多いのは、大阪弁で「ああうれし」をシャワーのように浴びているから、人を楽しませる気質が生まれたからでしょうか。「ああうれし」で、言う方も言われる方もハッピーになれるのは間違いありませんね。とりあえず、富山人の我々も「ああうれし」をたくさん言いたいものですね。



田辺聖子さんのイラスト

### 奇跡を起こそう 西部っ子③

### 大人の塗り絵を体験しました

先日、男の子が校長室にやってきました。

私にプレゼントを渡してくれました。その子が描いた船の絵です。細部まで詳しく描いてある下がきです。「その絵に色を付けてもいいよ」と言ってくれたので、B4の大きさをA4に縮小して、大人の塗り絵をすることにしました。30分もかからずに塗れると思っていましたが、1時間以上もかかりました。それは、その船の下がきが丁寧なので、自然と私の色塗りも丁寧になったからです。どの色にしようか考えながら色塗りをするのは楽しい活動でもありました。

市販の「大人の塗り絵」もありますが、子供が一生懸命描いた下がきに色を塗っていると、その子供との共同作業をしているようで心が温くなりました。

また、誰か校長室にやってきてくれないかな？

